

2026年4月15日
公益社団法人福島相双復興推進機構
(福島相双復興官民合同チーム)

「福島相双営農通信(第28号)」の発刊について

福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)では、営農再開の拡大に向け、農業者さまへの個別訪問に取り組んでいます。

この度、営農再開に向けて頑張っている農業者の皆さまの取組や、地域の農業の動きについてご紹介しているPR資料「**福島相双営農通信**」第28号を発刊いたしましたので、ご案内いたします。

○特集記事

1. 高品質の胡蝶蘭「ホープホワイト」を販売しています！

かつらお胡蝶蘭合同会社さんは、2017年に設立し復興への希望を込めて、胡蝶蘭「ホープホワイト」を栽培。2018年には復興大臣賞を受賞しました。現在は同社ホームページや一部の花屋さんでお買い求めいただけるほか、ECサイト(メルカリ Shops)でも販売を行っております。

2. 夜の森ローズガーデンで、新生活向けの祝いバラが好評です！

株式会社夜の森ローズガーデンさんは、2019年に町の復興のために設立され町の特産品を目指してバラの水耕(養液)栽培に取り組んでいます。ビニールハウス内で9品種6,600株のバラが一年中咲き、県内の市場への出荷や直売も行っており、お土産や新生活向けの祝いバラとしても大変喜ばれています。

3. 2026年初収穫の甘い長ネギを出荷いたしました！

南相馬市の南原正大さん、南原裕之さん、原好光さんは、震災後一度は諦めた農業であったが、「小高区片草で農業ができるならやりたい」との思いから、「美しかった景色」を取り戻すべく、2020年2月に南相馬市小高区に農業法人株式会社大地のめぐみを立ち上げました。

2025年からは、長ネギ栽培にもチャレンジし、年明けに無事収穫を迎えJAへの出荷や地元の方々への直接販売により、大変好評をいただいております。